



## カヤバ<7242>、二輪車・四輪車用ばねメーカーの知多鋼業<5993>をTOBで子会社化



カヤバは11日、二輪車・四輪車用ばねメーカーの知多鋼業に対して完全子会社化を目的にTOB（株式公開買い付け）を行うと発表した。買付代金は最大170億円。カヤバは知多鋼業株の11.56%を所有する筆頭株主。知多鋼業はカヤバが主力とする油圧機器製品の重要部品を手がけ、海外3カ所では合弁工場を運営するなど、かねて緊密な関係にあり、経営の一体化でサプライチェーン（供給網）の強靭化や競争力の向上につなげる。2025年1月下旬をめどに買い付けを始める予定。

買付価格は1株につき2010円。TOB公表前営業日の終値855円に135.09%のプレミアムを加えた。買付予定数は846万8483株。下限は所有割合55.11%にあたる527万6700株。

知多鋼業はTOBに賛同し、株主に応募を推奨することを決めた。TOBが成立すれば、同社の名証メイン市場への上場は廃止となる。

知多鋼業は前身の知多鋼業所（1946年創業）を継承して1956年に設立し、線ばね、薄板ばね、自動車用金具などの製造を始めた。1979年に株式を店頭登録後、1981年に名証2部に上場した（2022年4月に名証メイン市場に移行）。

カヤバは知多鋼業が2006年に実施した第三者割当増資を受けたのに伴い資本関係を形成。以降、インドネシア、チェコ、中国に合弁で生産会社を設立するなど、国内外で緊密な関係にある。